

529ヘクタールの水源の森からのホットな情報発信

第90号

2010年11月

やどりき水源林ニュース

発行 (財) かながわトラストみどり財団 編集 NPO 法人かながわ森林インストラクターの会
 ㊟ 220-0073 横浜市西区岡野2 12-20 神奈川県横浜西合同庁舎内
 ☎ 045-412-2255 URL: <http://www.ktm.or.jp> E-mail: midori@ktm.or.jp

定例観察会のお知らせ (費用等負担はありません)

毎週土曜・日曜の午前10時と午後1時から「NPO 法人かながわ森林インストラクターの会」会員が水源林をご案内します。やどりき水源林ゲート前までお越しください。なお、冬季(12月・1月・2月)は安全確保のため休止します。

早くも冬の準備を始める植物



本当に暑かった夏が終わりを告げたと思ったら、いきなり冬の様な寒さに突入するという異常ともいえる気象状態に今年は見舞われています。

秋の紅葉がようやく始まる気配を見せているなかにも、季節の移り変わりに着々と準備をする植物に着目して、やどりき水源林内を探し歩いてみるのも楽しいものです。

今回、地面に這い付く張るように広がるロゼットを探しました。(タンポポとオオバコは一年中ロゼット葉)



ヒメジョオン(夏の葉とは別物)



ハルジオン



メマツヨイグサ



ウラボシチコグサ



セイヨウタンポポ



オオバコ

やどりき水源林の中の様子を歩いて見てみました。



左の写真は、管理棟前広場のカツラの木の黄葉。よく醤油煎餅の香りがするとか、焼餅に醤油を付けた時の香りがするとか言われますが、あいにくの雨で香りも流れてしまったのでしょうか？

やどりき水源林の中で葉が落ちてしまったのは、このカツラとサクラくらい。イロハモミジやイチョウなども、まだ一部の葉の色が変わり始めた程度、11月これからが紅葉の本番です。

《水源林の紅葉》

赤：サクラ、イロハモミジ、コナラ、ヌルデなど

黄色：カツラ、イチョウ、ミズキ、ダンコウバイ、ケヤキ、サルトリイバラ、アオギリなど

茶色：ホオノキ、ミツバアケビ、フサザクラなど



サワガニの食事(ミミズが食材)



キクラゲ

前の季節の名残りもまだ見られます。



わずかに残るサルナシの実



ホトトギス



キオン

11月のトピックス



《平成22年成長の森見学会》

1回目が11月3日(文化の日)に行われました。

明るい日差しの中、お子様連れのご家族で水源林が賑わいました。13日(土)にも2回目を実施されます。



《10月桜》

やどりき大橋水源林ゲート左側のジュウガツザクラが花を付けています。冬の間、ポツリポツリといった感じで花が咲き続け、4月に2度目の見頃となります。また寄バス停近くのサクラ並木にも、1本咲いているサクラがありました。(左の写真)

12月の水源林

木々の葉が落ちてしまう季節は鳥の観察に適した季節になります。パートナー林活動・登山などでお越しの際は、静かな水源林で双眼鏡を覗いてみて下さい。